

日本・フィンランド ビジネス・フォーラム 2014

～欧州のハブ、ロシアへのゲートウェイとしてのフィンランド～

2014年5月13日(火)～16日(金) 於:ヘルシンキ、 Санктペテルブルク

フィンランドは、世界一といわれる高い学力と教育水準の高さで日本でも注目を集める国ですが、これに基づく質の高い労働力、緊密な協力関係を根底とする産学官連携、地域内でもトップクラスの技術力とイノベーション志向などの点から、欧州地域での事業展開を検討されている日本企業の皆様にとって、「ベース・キャンプ」となり得る魅力的なビジネス環境が整っている国です。

また、フィンランドは、EU諸国の中で最も長くロシアと国境を接しているほか、皆様既にご存じの通り、日本とは東西両方向からロシアを挟む位置関係にあり、長い歴史を通じて経済的にもロシアとの関係が深い国です。特にヘルシンキと3時間半の高速列車で結ばれている Санктペテルブルクには、500社近くのフィンランド企業が進出しており、その存在感は様々な分野で際立っています。なかでも、ソ連時代から快適な住宅を建設し、近代的な職場環境を提供すると評判のフィンランドの建設業、ロシア人の間でも信頼性の高いフィンランドの乳製品や小売業、海上・陸上を問わずロシア北西地域への物流を担うフィンランドの輸送業等の活躍が目立っています。昨今のロシア市場の成長に伴い、フィンランドの安定したビジネス環境を活かしたロシアへの「ゲートウェイ」とする効用、およびロシア市場(特に Санктペテルブルク地域)に関する知見・経験・ネットワークを有するフィンランド企業を「パートナー」とする利点等から、フィンランドの優位性が再認識されてきています。

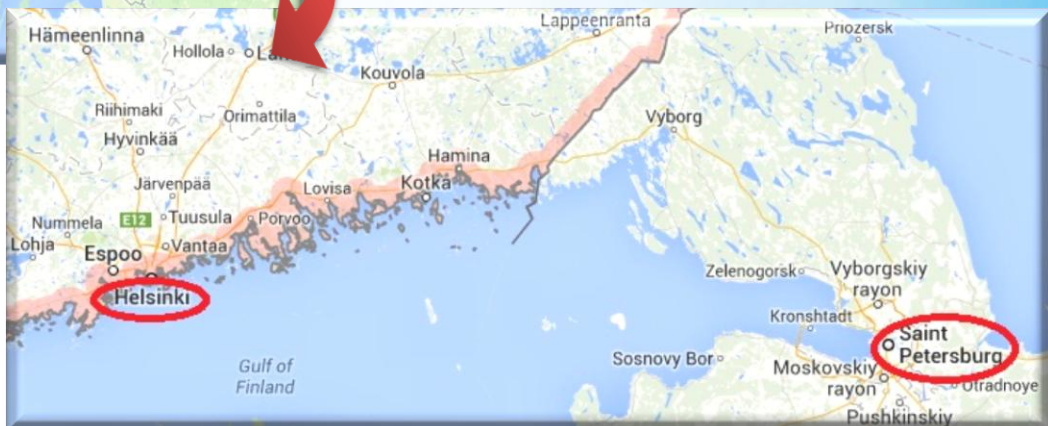
そこでこのたびチーム・フィンランド(*1)、在フィンランド日本国大使館およびジェトロ・ Санктペテルブルク事務所は、「日本・フィンランド ビジネス・フォーラム 2014」を以下のとおり開催することにいたしました。



本ビジネス・フォーラムでは、ヘルシンキでのビジネス・セミナーや Санктペテルブルクでの産業視察ミッションを予定しておりますが、加えて日本企業との協力に関心を有するフィンランド・ロシア企業や地方自治体とのネットワークを形成するこのうえないチャンスにならうかと考えています。

ご多用とは存じますが、皆様の奮ってのご参加をお待ちしております。

(*1) チーム・フィンランドとは、フィンランドの対外経済関係強化、ブランド構築、ビジネスの国際化、対フィンランド直接投資の促進等につき、世界各地のフィンランド政府および公的機関を核としたチームが「オール・フィンランド」の姿勢で一丸となって推進する対外貿易・投資イニシアティブ。



【実施要領】

- ◆**実施期間** : 2014年5月13日(火)~16日(金)、※現地集合(ヘルシンキ)、現地解散(サントペテルブルク)
- ◆**開催地** : フィンランド(ヘルシンキ)、ロシア(サントペテルブルク)
- ◆**プログラム(詳細下記スケジュール/プログラム参照)** :
 - ビジネス・セミナー(ヘルシンキ/サントペテルブルク): ロシアへのゲートウェイとしてのフィンランド
 - ネットワーキング(ヘルシンキ/サントペテルブルク): フィンランド側による紹介ブース設置(ヘルシンキ)、レセプション
 - 視察(サントペテルブルク) : サントペテルブルクで事業展開中のフィンランド企業
- ◆**主催** : チーム・フィンランド、在フィンランド日本国大使館、ジェトロ・サントペテルブルク事務所
- ◆**協力** : ジェトロ・ロンドン事務所
- ◆**参加費用** : 航空賃、鉄道費、宿泊費、食事代(プログラムに含まれない場合)、期間中の旅行保険等は参加者各自でご負担願います。

サントペテルブルクでの視察の際のバス移動については、主催者が手配・負担いたします。

- ◆**使用言語** : 英語(通訳手配はありません)

◆ビザ:

(フィンランド入国)日本国籍保有者は不要、ロシア国籍保有者はシェンゲンビザが必要です。ビザ取得手続きについては、所在地のフィンランド大使館および領事館にお問い合わせ下さい。

(ロシア入国)日本国籍保有者はビザ取得が必要です。ビザ取得手続きについては、所在地のロシア大使館および領事館にお問い合わせ下さい。

◆ロシア入国ビザの取得について

今回は港灣視察が含まれるため、商用ビザの取得が必要です(観光・学生ビザ等では入構できません)。主催者側では招聘状等の書類を発給することはできませんので、通常お使いの旅行代理店等にご相談ください。

なお、入構許可を港灣管理者へ申請するため、4月21日(月)までに商用ビザを取得し、顔写真とビザページのスキャンを主催者まで送付いただけますよう、お願いいたします。

- ◆**専用サイト** : プログラムの詳細、追加事項、フィンランド側参加者等の情報については、本ビジネス・フォーラムの専用サイトに随時掲載していきますので、適宜ご参照下さい。
→本件専用サイト : <http://www.emaileri.fi/g/l/98591/0/0/148/51/9>
- ◆**申込方法** : 別紙参加申込書に必要事項を記載の上、4月11日(金)までに下記までEメールにてお申し込み下さい。

◆お問い合わせ・申込先 :

在フィンランド日本国大使館 専門調査員 児玉 紗梨

TEL: +358(0)9-686-0200 E-mail: events.gtr@hk.mofa.go.jp

【スケジュール／プログラム】

プログラムは一部変更になる可能性もあります
 集合場所、会場等、詳細なスケジュール・プログラムに関しては、後日参加者にご連絡いたします。

日程／場所	時間	プログラム
5月13日(火) ヘルシンキ	—	ヘルシンキ到着 参加者各自にてホテル・チェックイン *ヘルシンキ宿泊*
	夕方	ウェルカム・レセプション(日本大使館主催)
5月14日(水) ヘルシンキ	午前	ビジネス・セミナー ●開会挨拶 - Kari Häyrinen フィンプロCEO - 篠田研次 駐フィンランド日本国大使 他 ●フィンランド経済・社会のイントロダクション(JETRO) ●北極圏地域におけるフィンランドの強み ●日本企業の投資事例の紹介 - ミサワホーム、村田製作所 ●フィンランド企業によるプレゼンテーション
	午後	One to one ミーティング ●フィンランド企業、地方開発公社、サービス・プロバイダーが設置する各ブースをお回りいただけます
	夕方	サンクトペテルブルクへの移動(高速列車、3時間半) Allegro 19:00 ヘルシンキ → 23:36 サンクトペテルブルク *サンクトペテルブルク宿泊*
5月15日(木) サンクトペテルブルク	午前	ビジネス・セミナー(於: フィンランド総領事館) ●歓迎の挨拶 - Pirjo Tulokas 在サンクトペテルブルク・フィンランド総領事 - 山村嘉宏 在サンクトペテルブルク日本国総領事 ●サンクトペテルブルクでのフィンランド企業の活動状況(フィン露商工会議所) ●サンクトペテルブルクでのビジネス環境、日本企業の活動状況(JETROサンクトペテルブルク)
	午後	視察 ●(都市インフラ開発)バルティック・パール・プロジェクト: フィンランド企業と中国企業との提携によるロシアでの都市インフラ開発成功事例 ●(小売・食品)プリズマ: サンクトに17店舗展開する大手スーパーマーケット
	夕方	ネットワーク・レセプション(フィンランド総領事館主催) *サンクトペテルブルク宿泊*
5月16日(金) サンクトペテルブルク	午前	視察 ●(物流)モビーディック・ターミナル: 大サンクトペテルブルク港の一部を構成するコンテナ・ROROターミナル ●(工業団地)YITグリーンステート: 独シーメンス等が入居する工業団地
	昼	昼食懇談会、解散
週末 5月16-17日		オプション・ツアー(*2)

(*2) 在サンクトペテルブルクのヘルシンキ・センター(ヘルシンキ、コトカ、タンペレ、ラハティ市による共同オフィスで、観光、イベントプロモーション、ビジネス振興・協力のために創設されたもの)は、本プログラム終了後サンクトペテルブルクからの帰路、ロシアとの国境近くに位置し、サンクトペテルブルクを含むロシア北西地域との活発な地域間交流・ビジネス協力を行っているコトカ・ハミナ・ラッペンランタ地域またはタンペレやラハティ等の地方都市を訪問した後ヘルシンキにお戻り頂くオプション・ツアーを企画しております。詳細は、別紙をご覧ください。ご希望の方は、申込用紙にその旨ご記入下さい。

【宿泊ホテルについて】

参加者各自で直接ご予約頂くようお願いいたします。なお、下記ホテルは以下の予約コードにて、電話、ファックス、メールいずれかの方法でご予約頂けます。

(1) ヘルシンキ市内(13日夜)

Sokos Hotel Original Vaakuna

<https://www.sokoshotels.fi/en/helsinki/sokos-hotel-vaakuna?>

予約コード: 20140513(4月13日まで有効、20部屋まで)

宿泊料: 一泊155ユーロ(WIFI・税・朝食込み)

予約先: Sokos Hotels Sales Service Centre

TEL: +358 20 1234 600 Telefax: +358 20 1234 640 E-mail: sokos.hotels@sok.fi

(2) サンクトペテルブルク市内(14日、15日夜)

Solo Sokos Hotel Vasilievsky

<https://www.sokoshotels.fi/en/st-petersburg/sokos-hotel-vasilievsky?>

予約コード: 875726 (4月14日まで有効、20部屋まで)

宿泊料: 一泊7700ルーブル(WIFI・税・朝食込み)

予約先: (下記リンクからダウンロード頂けます予約フォーマットをご使用頂けます)

FAX: +7 812 335 22 08 E-mail: reservations@shotels.ru

予約フォーマット: <http://www.emaileri.fi/g/f/14293/0/0/148/51/9>

*宿泊先については、上記以外のホテルをbooking.com等から各自ご予約いただいてもかまいません(ただし、**サンクトペテルブルクでのバスによる送迎は上記ホテルから/までとなります**)。

【ヘルシンキ・サンクトペテルブルク間の移動について】

ヘルシンキから高速列車「アレグロ」を利用いたします。**切符は、参加者各自で手配頂くようお願いいたします。**

Allegro 5月14日(水) 19:00ヘルシンキ発 → (約3時間半) → 23:36サンクトペテルブルク着

○ アレグロ時刻表(フィンランド国鉄HP)

<http://www.vr.fi/en/index/ulkomaat/venaja/allegro/timetables25032012.html>

○ アレグロ料金例(フィンランド国鉄HP)

<http://www.vr.fi/en/index/ulkomaat/venaja/allegro/faresfrom14december.html>

【ビザの取得および旅行の手配について】

日本からご参加の予定で、ビザ、ホテル、アレグロの手配などでお困りの方は、下記旅行代理店に問い合わせ頂くことが可能です。

(例1) 株式会社JTBコーポレートセールス 霞ヶ関第二事業部 営業一課

ご担当: 太田恭輔様 問い合わせ先: TEL: 03-6737-9281 E-mail: k_ota836@bwt.jtb.jp

(例2) 株式会社 大陸トラベル

ご担当: 木藤(きどう)様、高橋様 問い合わせ先: TEL: 03-6222-0580 E-mail: kidou@tairiku-travel.co.jp

【キャンセルポリシー等】

準備の都合上、スケジュールの時間および内容が変更になる可能性があります。天災、戦争、テロ、政情不安、その他主催者側の責任に期することの出来ない事由により、本事業を中止あるいは日程を変更することがありますので、ご承知置き下さい。万が一、こうした事態が生じ、各自お手配の航空券などのキャンセルや変更料などが発生した場合でも、主催者側ではこれらを負担いたしかねます。また、参加者ご自身のご都合(ビザ取得が間に合わなかった場合も含みます)により本事業に参加出来なくなった場合でも同様となりますので、予めご了承の上お申し込み下さい。なお、中止または変更の際には、ただちにお申し込み頂いた方々に連絡をさせていただきます。

ミッション期間中に発生する如何なる事故にも責任を負いかねます。万が一の損害に備え、各自で海外旅行保険等に任意で加入されることをお勧めします。また、持病がある場合には英文のカルテをご持参頂くほか、常用薬がある場合にはご携行いただくようお願いいたします。

別紙

オプション・ツアー

2014年5月16日(金)午後～17日(土)

主催： 在サンクトペテルブルク ヘルシンキ・センター

都市	特徴	産業分野
コトカ・ハミナ Kotka-Hamina Easily reachable by Allegro Train	Port	1) Logistics related to Russia 2) Gaming industry 3) Russian SME investments http://www.cursor.fi/
ラッペンラント Lappeenranta Easily reachable by Allegro train	Most popular shopping city for the Russians	1) Technical university's co-operation with Russia 2) Tourism 3) EU-Russian Innovation forum, focus in Energy http://www.businessinnovations.fi/
ラハティ Lahti 45 min from Helsinki by train, easily reachable by Allegro train	Clean tech and Design	1) Clean tech, waste management, water technology 2) Industrial Design http://www.ladec.fi/en
タンペレ Tampere 2 hours from Helsinki by train	One of the main cities in Finland, home of manufacturing industry in many fields	1) BioHealth , medical industry 2) Manufacturing industry 3) ICT 4) Intellectual and smart machinery http://www.tredea.fi/en/
ヘルシンキ Helsinki	Capital of Finland, main GDP contributor and business hub	These are mapped to be competitive strongholds in the Global context: 1) Entertainment Gaming Industry and Therapy Gaming (Neurogaming, Rehabilitation) 2) Life Sciences:: Neurotechnology (imaging/diagnostics) Neurosciences: Pharmacy / Therapy / Cognitive Medical Technology: Hardware / Software, Imaging, Devices 3) ICT: Mobile Technology, Wireless technology ,Mobile application 4) Applied Nanotechnology: Sensors and microsystems, Nano cellulose, 5) ALD = Atomic Layer Deposition http://www.helsinki.businesshub.fi